

# 手術・検査・その他医療処置についての同意書

経鼻上部消化管内視鏡検査

本文書に署名するにあたり理解しておいていただきたい以下の原則をお読み下さい。

診療行為とは、医師を中心とする医療チームと患者さんが共に疾患という敵に立ち向かう共同作戦の一つであると病院は考えています。この文書を作成する目的は、医師が先に説明書でお示した計画に沿った診療行為に患者さんが参加する意志があることを確認することにあります。

多くの診療行為は身体に対する影響・侵襲(ダメージ)を伴います。また、医療は万能ではなく、常に不確実な要素を含んでいますので、誠意を持って注意深く診療行為にあたったとしても貴方に重大な合併症や事故が生じる可能性があります。また、診療行為の過程で、治療している疾患と関係のない偶発症が発生することもあり得ます。もしそのような状況に遭遇すれば、必要な追加処置、緊急処置など最善を尽くして治療に当たりますが、残念ながら後遺症を残す場合や、不幸な転帰をたどる場合もあります。

検査・治療の説明をするにあたり、予想しうる重要な合併症と診療行為の後に生じる後遺症などについては本紙にて説明します。しかし、極めてまれなものや予想外の合併症の発生は、患者さんの個人差等もあり、全ての可能性を言いつくすことはできません。過失を伴わない合併症・偶発症に病院の賠償責任は生じません。医療にはこのような不確実性が常につきまとうことを承知した上で、ご自身の人生観や価値観に基づいて同意するか否かの自己決定を行い文書に署名して下さい。

疑問がある時は納得するまで質問して下さい。納得できない場合は、無理に結論を出さずに、他の医師に意見(セカンド・オピニオン)を聞くことをお勧めします。ご希望があれば紹介状を作成し、必要な資料も提供します。もちろん他の医師の意見を求めることで不利な扱いを受けることはありません。

## 説明

私は、患者 \_\_\_\_\_ さんへ手術・検査・その他医療処置について、既にお渡しした説明書に基づいてその内容を説明致しました。

医療機関名 \_\_\_\_\_ 担当医 \_\_\_\_\_

## 八千代病院 院長殿

上記の検査・治療について説明書に基づく説明を受け、疑問点についても質問し、内容に納得しましたので、その実施に同意します。なお、検査・治療中あるいは後に緊急の処置を行う必要が生じた場合、これを受けることについても同意します。

年 月 日

患者(代理人) 氏名(署名) \_\_\_\_\_ 続柄 ( \_\_\_\_\_ )

患者側同席者 氏名(署名) \_\_\_\_\_ 続柄 ( \_\_\_\_\_ )

氏名(署名) \_\_\_\_\_ 続柄 ( \_\_\_\_\_ )

氏名(署名) \_\_\_\_\_ 続柄 ( \_\_\_\_\_ )

学会などへの症例提示を拒否される場合はチェックを入れて下さい

# 手術・検査・その他医療処置についての説明書

経鼻上部消化管内視鏡検査

患者様氏名	説明医
-------	-----

## 1 病名

食道・胃・十二指腸の炎症、潰瘍、ポリープ、がんなどの病気

## 2 手術、検査等の名称

経鼻上部消化管内視鏡検査

## 3 手術、検査等の必要性

食道・胃・十二指腸の炎症、潰瘍、ポリープ、がんなどの病気を調べる必要があります。

## 4 手術、検査等の詳細

内視鏡を鼻孔から胃の中へ挿入し、病気の有無を調べる検査です。検査前には鼻腔を広げる薬や鼻・のどの麻酔に麻酔薬のキシロカインを使用し、検査直前に胃腸の動きを抑える筋肉注射(鎮痙剤)をします。内視鏡が入る時は呼吸を止めずに力を抜いて楽にしてください。胃に空気を入れて写真を撮影するので検査中のゲップをなるべく我慢してください。必要に応じて色素を散布したり、組織の一部を採取(生検)して細胞の検査を行います。キシロカインや鎮痙剤にアレルギーがある方や血液をさらさらにする薬を内服されている場合は事前に医師とご相談下さい。

## 5 手術、検査などの危険性

検査中は安全のため自分で動かないで下さい。鼻・のどの麻酔や鎮痙剤によるアレルギーによるショック・皮疹・呼吸抑制などの可能性があります。前処置に関連する偶発症は2008年～2012年の全国調査で472件/17,087,111件(0.0028%)で9例の死亡例を認め、そのなかでは鎮痛・鎮静薬関連が最も多く219件で死亡例は4例でした。内視鏡の挿入や観察・生検時に出血や裂創、穿孔などの可能性があります。頻度は550件/10,299,643件(0.005%)、死亡例は13例(0.00013%)でした。(日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡関連の偶発症に関する第6回全国調査報告2008年～2012年までの5年間より)

## 6 治療しなかった場合、もしくは他の治療法との比較

病気の発見が遅れたり、病状が悪化する可能性があります。

## 7 学会、研究会などへの症例の提示

医学研究などの目的の為、本症例を学会、研究会などで提示、また他多くの症例とまとめて統計処理し発表することがあります。個人情報には十分に秘匿化されますのでご安心下さい。このような目的での症例の提示を拒否される場合は同意書の規定欄にチェックを入れて下さい。ただし、症例提示を拒否される場合でも、他多くの症例とともに統計処理に組み込まれる場合があります。

## 8 医療機器メーカー社員など院外スタッフの立ち会い

昨今の医療機器などの発展、高性能化に伴い、院内スタッフのみでは機械の取り扱いが難しい場合があります。その場合はメーカー社員が立ち会いますのでご了承下さい。

## 9 その他特に説明したこと